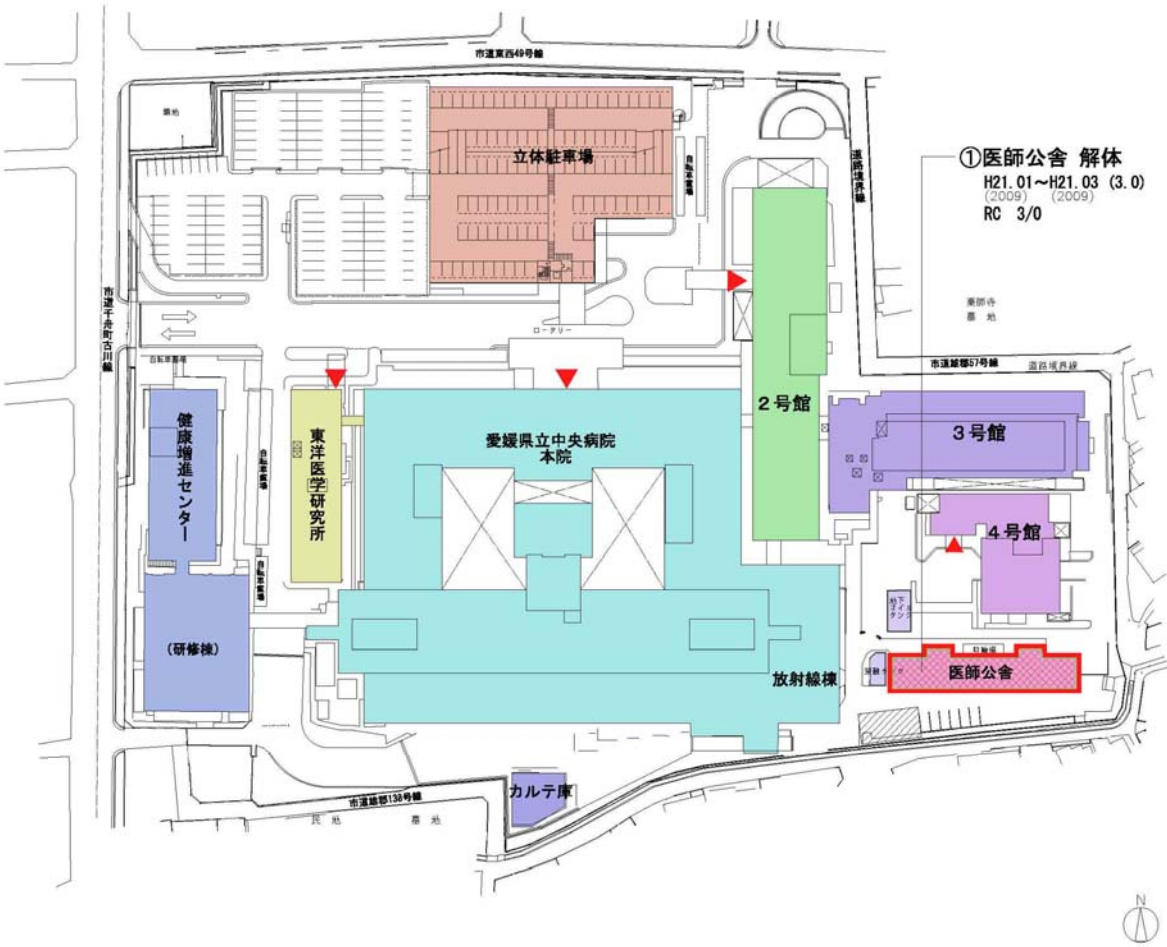


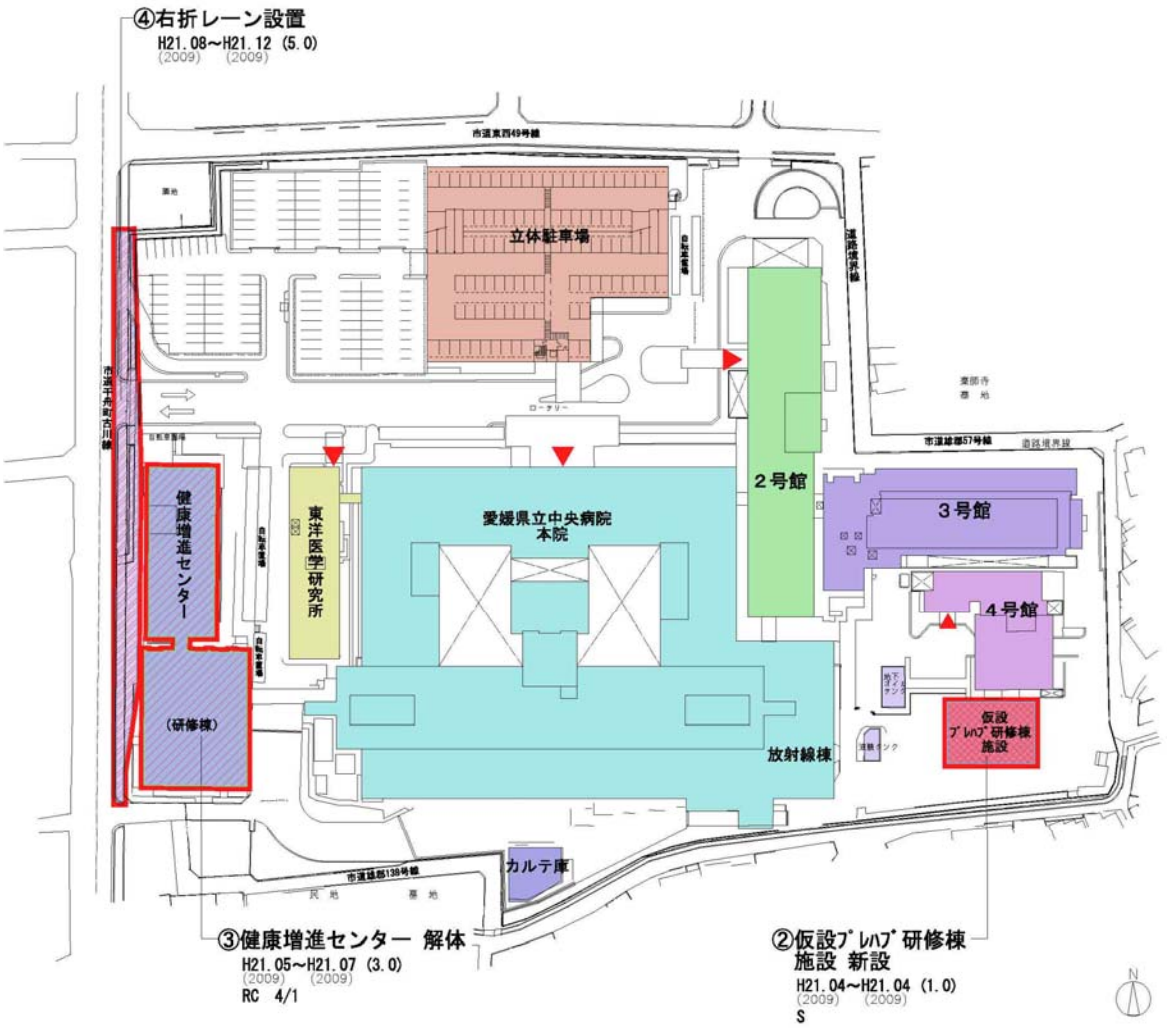
愛媛県立中央病院 建築ステップ図

時系列的配置図

ステップ 1



ステップ 2



工事工程

現状棟別概要									
現状	健康増進センター(研修棟)	東洋医学研究所	本院	救命救急センター	周産期センター	PET-CTセンター・職員宿舎	立体駐車場	世帯用医師公舎	カルテ庫
呼称	健康増進センター	東洋医学研究所	本院	2号館	3号館	4号館	立体駐車場	医師公舎	カルテ庫
解体／改修	解体	解体	解体	解体	改修	設備システム改修	解体	解体	解体
建築完成年	S50	S58	S49	S56	H2	H18	H4	S50	S58
構造種別	SRC(RC)	RC	SRC	RC	SRC・RC	RC	S	RC	S
構造形式	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン及びプレス構造	壁式構造	ラーメン構造
延床面積	4,132㎡	1,372㎡	31,163㎡	8,712㎡	7,717㎡	3,928㎡	7,427㎡	898㎡	448㎡
階数	4/1	2/0	8/1	6/1	7/1	8/1	3/0	3/0	3/0

※延床面積については、固定資産台帳上の面積である。

①医師公舎 解体

- ②仮設プレハブ研修棟 新設
■仮設プレハブ研修棟へ仮設インフララインを整備する。
- ③健康増進センター（研修棟） 解体
- ④西側市道道路 右折レーン設置 （事業対象外）
- ステップ3での立体駐車場(1)の工事に先立ち、本院から立体駐車場（1）へ仮設インフララインを整備する。

	ステップ 3	ステップ 4
時系列的配置図		
工事工程	⑤立体駐車場(1) 新設 ⑥-a 東洋医学研究所 1 階玄関廻り、本院 1 階玄関廻り改修 : 1 号館建設工事中の仮設メイン玄関として改修 ■東洋医学研究所・本院間の渡り廊下を増築する。 ■東洋医学研究所へのアプローチは本院から東洋医学研究所南側とする。 ■本院から立体駐車場(1)への構内線を仮設整備する。 ⑥-b 2 号館玄関廻り改修 : 1 号館建設工事中の仮設救命救急センター入口として改修 ■救急車のアプローチは 2 号館東側からとすることから、救急車進入に配慮した外構とする。 ■2 号館の救命救急出入り口を現在の位置から東側のエレベーターホールとする。 ■2 号館玄関廻りの改修工事に伴い、隣接するエリアの機能を継続するため、盛替え工事を行う。	⑦立体駐車場 解体 ■既存平置き駐車場は半分程度継続運用する。 ■本院の出入口は東洋医学研究所からとする。 ■本院玄関廻り及び工事範囲における石碑、庭石、植栽等を移設する。 ■1 号館建設地に本院インフララインが埋設されており、引込位置、構内ルートを盛替える。 ・電力は敷地西側の市道側から引き込む。 ・通信は敷地南側から引き込む。 ・排水は敷地西側の市道側へ放流する。 ・構内外灯は盛替える。 ・北側住宅地区に対する現テレビ電波障害対策ケーブルの盛替を行う。

	ステップ 5	ステップ 6
時系列的配置図	⑧ 1号館 新設 H22.08～H25.02 (31.0) (2010) (2013) ● 1号館オープン H25.06 (2013)	⑨ 2号館 解体 H25.07～H25.12 (6.0) (2013) (2013) RC 6/1 ⑩ 3号館 改修 H25.07～H25.12 (6.0) (2013) (2013) RC 7/1 ⑪ 本院 仮使用 H25.07～H25.12 (6.0) (2013) (2013) RC 8/1
工事工程	⑧1号館 新設 : 1号館運用開始は平成25年6月を厳守 ■1号館工事範囲は赤線内とする。 ■本院と1号館の間は安全通路を確保する。 ■1号館竣工から本院の解体までの期間において、本院の電力、電話、LAN、防災、監視等のシステム機能を継続するため、1号館と本院との連絡線を工事する。 ■1号館での特高受電後も、本院、2号館、3号館、4号館（PET-CTセンター）等は本院6kV受電を数ヶ月間継続する。	⑨2号館 解体 ⑩3号館 改修 ■工事を2期に分け、研修医のエリアは1期工事とする。 ■2号館の解体に伴い、3号館地下1階、4号館（PET-CTセンター）のインフララインについては仮設対応が必要となるため、1号館、又は本院のいずれかから、3号館、4号館（PET-CTセンター）への仮設インフララインを整備する。（現在、4号館（PET-CTセンター）のインフララインが2、3号館の地下を経由） ■3号館に入居する研修医の移転フロアを先行して改修する。 ⑪本院 仮使用 ■1号館開院後6ヶ月は本院を仮使用する。 ■3号館の改修期間中、本院1、2階の管理運営部門を仮使用することから、本院の基幹設備機能、防災機能を継続運用する。 ■2号館の解体前に、1号館と既存エリアとを結ぶ仮設通路を確保する。 ■避難経路、運用動線を確保し、本院の未使用エリアは閉鎖する。

時系列的配置図

工
事
工
程